

FINANCIAL REPORT

第15期中間事業報告書
2003.10.1-2004.3.31

 **Nexyz.**

**スピード、アイデア、パッション。
私たちネクシィーズには、それぞれの視点を
組み合わせた新しいチカラがあります。**

2004年の上半期が終わりました。今期掲げた目標達成を目指し、下半期もあらゆる面での取り組みを続けてまいります。私たちがテレマーケティングを中心にお客様とのコミュニケーションを最も大切にする姿勢はこれからも変わりません。ブロードバンドサービスや衛星放送サービスによって楽しめる様々なコンテンツを、より多くの皆様へわかりやすくご提供することで、物ではなく「価値」を伝えるサービスを信念として取り組んでまいります。また昨今騒がれている個人情報の保護に関しましても社会的責務として強固なセキュリティシステムを積極的に構築しております。上場企業としての社会的責任を深く自覚し、より一層の業績向上と社会貢献に邁進してまいります。これからもネクシィーズにどうぞご期待ください。



A handwritten signature in blue ink, which appears to read "Takashi Imoto". The signature is fluid and stylized, with long, sweeping lines.

株式会社ネクシィーズ
代表取締役社長
近藤 太香巳

当期における我が国の経済状況は、株式市場における株価上昇や設備投資の増加、企業の業績改善等、景気回復への兆しも少しずつではありますが見えはじめました。

通信業界、特にインターネット市場につきましては、ナローバンドからブロードバンドへインターネットの主流が急速に移行しております。総務省発表資料によるとブロードバンド利用者数は平成16年3月末14,917千人（注）に達し、なかでも既存の電話回線を利用するDSL接続利用者数は、平成16年3月末現在11,196千人（注）と、ブロードバンド利用者全体に占める割合は75.1%を占め、ナローバンドからブロードバンド接続への移行において牽引役を果たしており、今後も更にDSL加入者数は拡大推移していく予測が発表されています。

このような環境の下、当社グループはテレマーケティング事業を中心として、今期も前期に引き続きブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」加入取次ぎサービスに注力し、加入契約取次ぎ数の増加に伴う売上増、加入契約獲得者の累積に伴う継続収入の拡大に努めてまいりました。

広告業界につきましては、全体として不況の影響で、企業が負担する広告費の出費は抑制傾向にあります。一方、当社グループが展開する広告等のマーケティング事業及びプロモーション事業は「懸賞キャンペーン応募用紙広告」や「eCRM」に代表されるように、膨大な費用のかかるマスメディア広告と比較し、より低価格且より効果的に顧客意識を抽出することができる点に特徴があるため、販売に直結する効果的な費用投下が要求される現環境下においても、受注は順調に推移しております。

このような営業活動により当連結会計年度の業績は中間連結売上高8,729,809千円（前年同期比130.9%増）中間連結営業利益299,099千円（前年同期比33.1%増）、中間連結経常利益229,270千円（前年同期比22.6%増）となっております。

（注）平成15年版情報通信白書（総務省編）・総務省DSL普及データ（月次）から引用しました。

**<連結>売上高・営業利益・経常利益とも
前年同期比 増収増益**

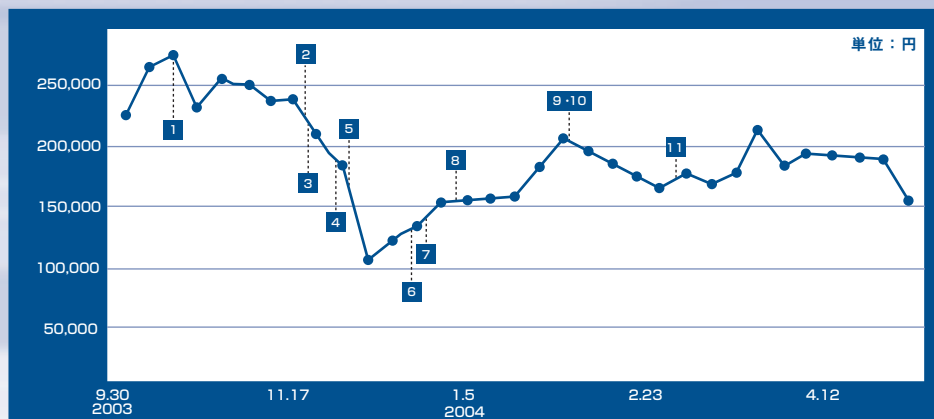
継続収入がさらに拡大

セキュリティシステムの強化

リリース内容

- 1 2003.10.14 グループ会社、アイデアキューブ(株)と共同で、携帯電話を利用したポイントシステム販売を開始
- 2 2003.11.19 富山支店開設のお知らせ
- 3 2003.11.27 平成15年9月期決算短信の発表
- 4 2003.12.04 株式の立会外分売実施についてのお知らせ
- 5 2003.12.08 決算説明会開催(東京証券会館にて)
- 6 2003.12.22 株主総会開催(セルリアンタワー東急ホテルにて)
- 7 2003.12.25 平成15年9月期 有価証券報告書の提出
- 8 2004.01.03 新株予約券(ストックオプション)の発行条件等に関するお知らせ
- 9 2004.02.18 株式分割と増配のお知らせ
- 10 2004.02.18 平成16年9月期第1四半期決算短信~プレスリリースサマリー~発表
- 11 2004.02.26 証券仲介業を活用し、イー・トレード証券(株)と業務提携を発表

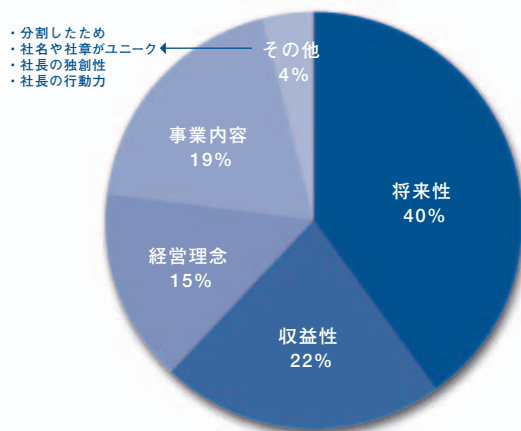
株価チャート



アンケート結果

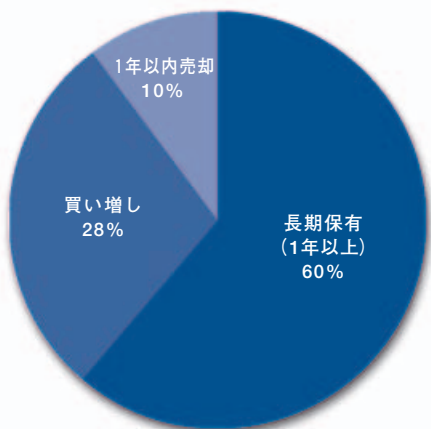
当社では、株主の皆様とのコミュニケーションを図るため、2003年度事業報告書と共に株主アンケートをお送りいたしました。アンケートを返送いただいた方には、「パッション・ナビゲーター（近藤 太香巳 著）」を差し上げるという方法で、実施いたしました。お陰様で、154名の皆様からご回答をいただくことができました。厚く御礼申し上げますとともに、このほど、その結果を以下にとりまとめましたのでご報告いたします。今後とも、株主の皆様との相互理解を図るべく、タイムリーな情報提供に努めてまいりますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

Q1. 当社の株式を 買付けされた理由は何でしょうか？



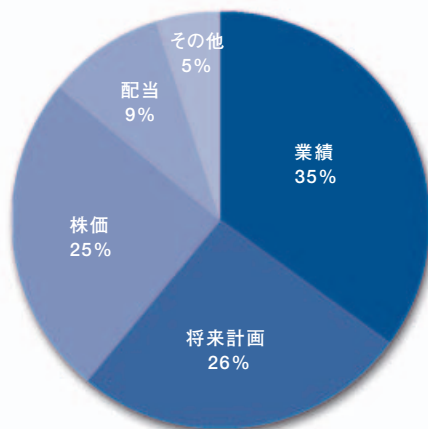
「将来性」とご回答いただいた株主様が40%とトップでした。多くの方が、当社事業の今後の成長性に着目されています。

Q2. 今後の当社株式について どのような方針をお持ちですか？



長期保有(1年以上)と買い増しが大部分を占めています。株主の皆様からの将来に対する期待が大きいものと考えこれからも株主様へ利益還元できるよう努力してまいります。

Q2-2. また上記方針を決定するための 判断材料を何ですか？



「株価」「業績」「将来計画」が多く割合を占めました。複数回答も多く、総合的に判断される方が多いようです。

Q

今後の新事業などの
取組みを教えてください。
具体的にお願いします。

A

ネクシイズグループはいままで移動体通信、CS放送、BS放送、ブロードバンドインターネット接続サービス等の加入取次ぎ業務を筆頭に企業様へのCRM事業などに取り組んでまいりました。今後は、先に述べた事業に加え、証券仲介業を開始してまいります。初めは少人数にてテストマーケティングを行い、時代のニーズにこたえるべく拡大してまいる予定でございます。また、当社が主力商品として扱っているブロードバンドの普及が進むと、今までに無かった新サービスの出現が予想されます。今までに培ってきたテレマーケティングのノウハウを駆使し、積極的に取り組んでまいる所存でございます。具体的に進行している内容もありますが、ここでご紹介することは残念ながらできかねます。時期がくれば皆様に発表させていただきますので、その時までどうぞお楽しみにお待ちください。



株主様からの質問をまとめました。
Q&A方式で当社 代表近藤太香巳
がお答えしています。



【プレディクティブダイヤラー】

当社では、アウトバウンドテレマーケティングにおいて「プレディクティブダイヤラー（自動ダイヤルシステム）」の導入を推進しています。プレディクティブダイヤラーを使用することにより、オペレーターが顧客の電話番号を押すことなく自動でダイヤルし、顧客が応答した場合のみオペレーターへつながら、業務画面が表示されるといった効率的な業務が可能になります。

Q

個人情報保護に対する取組みを教えてください。

A

多くのデータ(個人情報)を取扱う当社にとって個人情報保護への取組みは重要な位置づけになっております。当社事業は個人情報のデータベースを活用し、プロモーション&マーケティングサービスを展開しており、個人情報の取り扱い、情報セキュリティ管理には最善の対策を講じております。現在の取組みについて具体的にご説明いたします。個人情報を取扱う高セキュリティーエリアでは、社内他部署から隔離されたスペースで、入退室管理には指紋認証システムで登録された社員のみ入退室可能になっており、作業を行う端末(パソコン)にも指紋認証システムにて登録されている社員のみがアクセス可能となっております。また、端末(パソコン)はFD(フロッピーディスクの略)やCDなどの記録媒体への書き込みを不可能にしております。さらに、監視カメラによる監視と、全てのアクセスログの監視が24時間365日行われており、部署責任者のもと厳重に個人情報を保護しております。なお、オンライン上からの不正アクセスに対してはサーバの分散化および、ファイアウォールセキュリティーシステムを幾重にも張り巡らせており、強固なセキュリティーに努めております。



ネクシーズの 高セキュリティーシステム



【監視カメラ】
24時間監視・記録



【指紋認証システム】
入退室の厳重管理



指紋認証によるPCログイン

Q

継続収入について教えてください。 継続収入とはなんですか？

A

継続収入には2種類ございます。まずは「継続利用手数料」、これはソフトバンクBB株式会社、スカイパーフェクト・コミュニケーションズ株式会社や株式会社ワウワウ・マーケティング等の通信キャリアから永続的に得られる手数料収入です。もうひとつは「会費収入」、当社グループが行うレンタル事業（パソコンや衛星放送機器の会員制レンタルサービス）から継続して得られる収入です。双方とも当社が契約獲得型テレマーケティングを行い、サービス加入利用者となったお客様を対象としており、お客様が利用するかぎり毎月入金がございます。平成14年9月期の継続収入は1億7,600万円、平成15年9月期の継続収入は5億2,800万円が売上計上となりました。これは1年間で売上計上になった一部分に過ぎず、今後計上予定の未計上部分を試算すると、平成14年9月期で約6億円、平成15年9月期では約30億円となります。

当社は短期的には、市場のニーズを的確に把握し、お客様（消費者）に最適なデジタルツールを提供し、業容の拡大に努めております。それと同時に、中・長期的には継続収入を生み出す顧客層を蓄積することで、将来の安定した経営基盤を確立することを目標に掲げております。



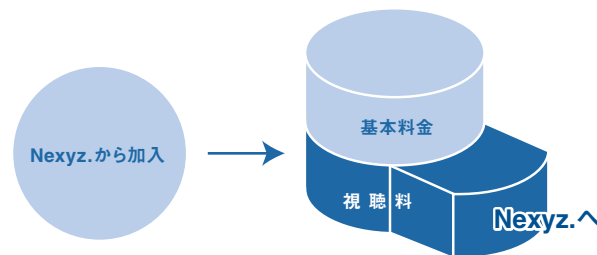
※継続収入は、顧客事情による解約やサービスの停止などにより変動する可能性があります。



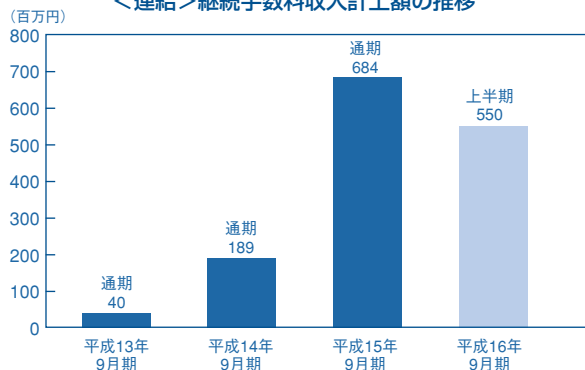
継続収入（ライフタイム・コミッション）とは

ネクシィーズからYahoo! BBや衛星放送サービスに加入契約されたお客様が、毎月お支払いになる月額使用料（視聴料）の一部を販売代理店が受け取るコミッションです。また、この収入は、お客様の契約期間中、継続され続けます。

お客様が毎月お支払いになる
月額使用料（視聴料）



＜連結＞継続手数料収入計上額の推移

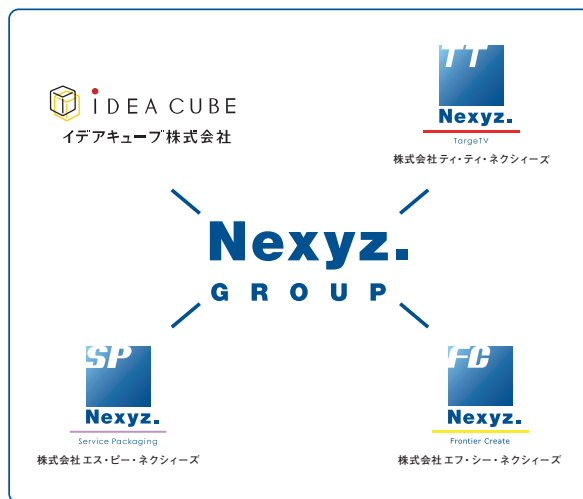


Q

ネクシイズグループの子会社ではどのような事業をしているのですか？

A

ネクシイズグループ各社は、互いに密接な業務関係を築いております。まず、アイデアキューブは、当社が実施する懸賞キャンペーンの応募者向け会員制メールマガジンの配信（会員数80万人）や、懸賞キャンペーン実施企業向けのe-CRMサービス、さらにはインターネット広告などのネットビジネスを手掛けております。当社グループ内で中核的位置づけであり、最もIPOに近い子会社と言えるでしょう。エス・ビー・ネクシイズは、衛星（BS）放送受信機器、パソコン等のデジタルツールの会員制によるレンタルサービス及び各種加入契約取次ぎ業務の事務処理業務の受託を行っております。それから、ティ・ティ・ネクシイズは、衛星（CS）放送受信機の会員制レンタルサービス及び、衛星放送の視聴パッケージの設定、管理運営を行っております。エフ・シー・ネクシイズは、当社が取扱う各種情報通信サービスの加入取次代理店を募集し、代理店の育成等による企業家育成のプログラムを行っております。



CubeCity

CubeCityとは……

ショッピングから映像・音楽・ゲーム・アバターまで、おトクな情報満載の「いいとごどり」Webサイトです。



<http://www.cubecity.jp>

Q

会社説明会等、今後の株主向け、投資家向けへの情報発信について予定しているものがあれば教えてください。

A

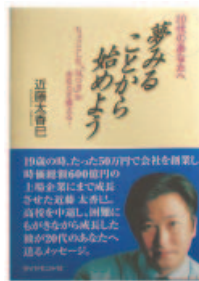
今年も個人投資家説明会を開催する予定です。また、当社ホームページを、現在より、見やすく、わかりやすいサイトへリニューアル中でございます。IR関連の無料メールマガジンの配信も予定しており、IRニュースを充実させ定期的な情報発信を目指しております。（7月中リニューアル予定）



平成16年3月から近藤太吾巳ホームページを開設いたしました



大学や企業で講演活動を行っております



「夢みることから始めよう」
3月15日、ダイヤモンド社より
出版されたエッセイ



「Dreams」夢は大空へ、努力は足元へ
6月に出版予定のコミック

連結貸借対照表(要約)

科目	前中間連結会計期間末 (平成15年3月31日)	当中間連結会計期間末 (平成16年3月31日)
(資産の部)		
I 流動資産	4,252,062	11,873,660
1.現金及び預金	1,307,698	3,264,028
2.売掛金	2,183,431	6,746,450
3.たな卸資産	255,716	287,845
4.繰延税金資産	10,692	786,692
5.その他	494,524	788,643
II 固定資産	3,707,949	3,952,598
(1)有形固定資産	2,388,412	2,280,926
1.レンタル資産	2,136,071	1,589,357
2.その他	252,341	691,569
(2)無形固定資産	404,754	593,936
1.連結調整勘定	194,506	395,710
2.その他	210,247	198,225
(3)投資その他の資産	914,782	1,077,735
1.投資有価証券	225,369	79,857
2.敷金・保証金	456,567	680,766
3.繰延税金資産	46,618	28,607
4.その他	189,461	291,341
5.貸倒引当金	△3,234	△2,837
資産合計	7,960,012	15,826,259
(負債の部)		
I 流動負債	2,229,524	7,129,625
1.買掛金	146,473	599,468
2.短期借入金	756,800	520,000
3.一年内返済予定の長期借入金	423,704	1,594,817
4.未払金	834,980	1,766,025
5.未払法人税等	29,669	844,056
6.解約調整引当金	19,147	1,763,128
7.その他	18,749	42,129
II 固定負債	1,777,438	3,255,978
1.社債	950,000	500,000
2.長期借入金	527,687	2,539,225
3.その他	299,751	216,753
負債合計	4,006,962	10,385,604
(少数株主持分)		
少数株主持分	242,949	146,380
(資本の部)		
I 資本金	1,944,692	2,695,797
II 資本剰余金	1,730,500	2,481,605
III 利益剰余金	34,792	118,287
IV 其他有価証券評価差額金	1,533	—
V 自己株式	△1,417	△1,417
資本合計	3,710,101	5,294,274
負債・少数株主持分及び資本合計	7,960,012	15,826,259

連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 自平成14年10月1日 至平成15年3月31日	当中間連結会計期間末 自平成15年10月1日 至平成16年3月31日
(営業損益の部)		
I 売上高	3,781,086	8,729,809
II 売上原価	1,689,782	6,651,542
売上総利益	2,091,303	2,114,267
III 販売費及び一般管理費	1,866,525	1,815,168
営業利益	224,777	299,099
(営業損益の部)		
IV 営業外収益	21,280	42,803
V 営業外費用	59,103	112,631
経常利益	186,954	229,270
(特別損益の部)		
VI 特別利益	398	—
VII 特別損失	175,942	40,267
税金等調整前中間純利益	11,409	189,002
法人税・住民税及び事業税	29,681	844,211
法人税等調整額	7,033	△677,573
少数株主利益損失	△49,096	△12,335
中間純利益	23,791	24,699

連結剰余金計算書(要約)

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 自平成14年10月1日 至平成15年3月31日	当中間連結会計期間末 自平成15年10月1日 至平成16年3月31日
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高	1,730,500	2,481,605
II 資本剰余金増加高	—	—
III 資本剰余金中間期末残高	1,730,500	2,481,605
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高	64,320	168,513
II 利益剰余金増加高	23,791	24,699
中間純利益	23,791	24,699
III 利益剰余金減少高	53,320	74,925
配当金	53,320	74,925
IV 利益剰余金中間期末残高	34,792	118,287

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 自平成14年10月1日 至平成15年3月31日	当中間連結会計期間末 自平成15年10月1日 至平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,415	△1,868,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,941	△305,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	280,005	22,126
現金及び現金同等物の(△減少)額	△863,350	△2,151,582
現金及び現金同等物の期首残高	1,877,048	5,371,611
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,013,698	3,220,028

財務諸表(単体)

単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

科 目	前中間会計期間末	当中間会計期間末
	自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日	自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日
(資産の部)		
I 流動資産	3,950,199	11,280,574
1.現金及び預金	730,437	2,110,362
2.売掛金	2,125,073	6,691,971
3.たな卸資産	151,739	122,373
4.短期貸付金	497,332	601,881
5.繰延税金資産	10,692	782,356
6.未収入金	—	838,024
7.その他	434,924	133,603
II 固定資産	2,754,315	4,598,306
(1)有形固定資産	673,993	927,414
1.レンタル資産	436,986	289,984
2.その他	237,006	637,430
(2)無形固定資産	9,625	33,514
(3)投資その他の資産	2,070,696	3,637,376
1.投資有価証券	195,369	48,007
2.関係会社株式	1,194,750	1,523,500
3.関係会社長期貸付金	—	1,125,000
4.敷金・保証金	447,751	637,408
5.繰延税金資産	46,618	28,607
6.その他	189,441	277,690
7.貸倒引当金	△3,234	△2,837
資産合計	6,704,515	15,878,880
(負債の部)		
I 流動負債	2,239,934	7,241,563
1.買掛金	308,538	631,593
2.短期借入金	756,800	520,000
3.一年内返済予定の長期借入金	234,044	1,435,132
4.未払金	870,155	1,822,967
5.未払法人税等	29,133	793,927
6.解約調整引当金	19,147	1,763,128
7.その他	22,115	274,814
II 固定負債	630,030	3,119,018
1.社債	—	500,000
2.長期借入金	333,502	2,429,725
3.その他	296,528	189,293
負債合計	2,869,964	10,360,581
(資本の部)		
I 資本金	1,944,692	2,695,797
II 資本剰余金	1,730,500	2,481,605
III 利益剰余金	159,241	342,312
IV 其他有価証券評価差額金	1,533	—
V 自己株式	△1,417	△1,417
資本合計	3,834,550	5,518,298
負債資本合計	6,704,515	15,878,880

単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

科 目	前中間会計期間末	当中間会計期間末
	自 平成14年10月1日 至 平成15年3月31日	自 平成15年10月1日 至 平成16年3月31日
(営業損益の部)		
I 売上高	3,703,144	8,270,163
II 売上原価	2,019,577	6,482,053
売上総利益	1,683,566	1,788,109
III 販売費及び一般管理費	1,463,132	1,564,254
営業利益	220,434	223,855
(営業損益の部)		
IV 営業外収益	41,488	71,566
V 営業外費用	34,669	108,698
経常利益	227,253	186,723
(特別損益の部)		
VI 特別利益	398	—
VII 特別損失	175,942	5,922
税引前中間純利益	51,708	180,800
法人税、住民税及び事業税	29,145	794,052
法人税等調整額	7,033	△663,236
中間純利益	15,529	49,985
前期繰越利益	143,712	292,326
中間未処分利益	159,241	342,312

社名

株式会社ネクシィーズ

所在地

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1

代表者

近藤 太香巳

設立

1990年2月

資本金

2,695百万円

従業員数

単独：320名

連結：346名

(平均年齢26歳／平成16年3月31日現在)

役員構成平成(平成16年3月31日現在)

代表取締役社長	近藤 太香巳
取締役副社長 営業本部長	大前 成平
専務取締役 管理本部長	松井 康弘
常務取締役 社長室長	近藤 忍
取締役 企画本部長	岩本 恵了
取締役 営業副本部長	藤野 剛志
常勤監査役	石井 安夫
常勤監査役	平田 浩
監査役	中井 政嗣
監査役	吉江 淳

主要取引銀行

三井住友銀行 渋谷支店

UFJ銀行 池袋支店

みずほ銀行 渋谷支店

東京三菱銀行 渋谷明治通支店

あおぞら銀行 本店

サービス内容

テレマーケティングサービス

マーケティングサービス

プロモーションサービス

※横浜市認定企業

※日本フードサービス協会 賛助会員

※日本テレマーケティング協会 会員

支店



札幌支店
JRタワーオフィスプラザさっぽろ12F



盛岡支店
七十七日生盛岡ビル8F



仙台支店
アエルビル17F



池袋支店
池袋T G ホームストビル6F



新宿支店
新宿NSビル7F・24F



富山支店
タワートリプルワン16F



名古屋支店
明治安田生命名古屋ビル11F



大阪支店
サンマリオンNBFタワー5F



広島支店
明治安田生命広島ビル6F



高松支店
高松センタービル9F



福岡支店
紙与博多ビル5F



本社
渋谷インフォスタワー7F・18F

株式の状況（平成16年3月31日現在）

会社が発行する株式の総数 473,000株
発行済株式総数 149,874.5株

平成16年2月18日開催の取締役会において、平成16年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主に対して、平成16年5月20日をもってその所有する普通株式1株を2株の割合で分割し、これにより発行済株式の総数を149,874.5株増加し、299,749株とする決議がなされました。

株主メモ

決算期日 9月30日

定時株主総会 営業年度末日の翌日から3ヶ月以内

名義書換代理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 住所変更等用紙のご請求 ☎ 0120-175-417
その他のご照会 ☎ 0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

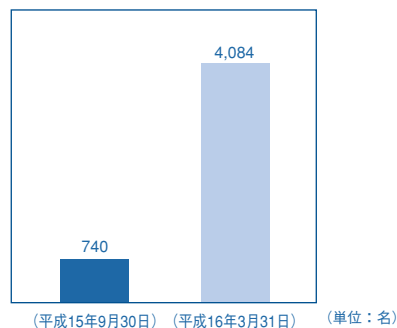
株式状況（平成16年3月31日現在）

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
近藤 太香巳	54,512	36.4
ソフトバンク・インターネット テクノロジー・ファンド2号	24,322	16.2
ワールド日栄フロンティア証券株式会社	11,191	7.5
ソフトバンクBB株式会社	7,500	5.0
ソフトバンク・ブロードメディア株式会社	7,500	5.0
ソフトバンク・ファイナンス株式会社	4,062	2.7
ネクシィーズ従業員持株会	3,948	2.6
株式会社ライツコア	3,000	2.0
株式会社まぐクリック	2,100	1.4
大阪証券金融株式会社	1,740	1.2

株主数

740 (平成15年9月30日) **4084** (平成16年3月31日)

株主数の推移





IRページにて、会社説明会等の映像がご覧いただけます。
<http://www.nexyz.co.jp>

株式会社 ネクシィーズ (証券コード 4346)

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスタワー7F・18F

TEL:03-5459-7444 FAX:03-5459-4435


Nippon New Market
ヘラクレス上場会社: 4346